地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
Kobe City Medical Center General Hospital

発 行 日：令和8年9月15日
発行・編集：患者総合支援センター

Kobe City Medical Center General Hospital NEWS

No.95
中央市民病院ニュース



Contents

整形外科部長着任挨拶　岡本　健 …… 1～2
熊本地震におけるDMAT活動報告
不整脈に対する最新治療のご紹介 …… 3
令和8年度 地域連携懇話会のご案内 …… 4
連携登録医登録、新規連携登録医療機関 …… 5
医師異動のお知らせ、外来診療担当医一覧表、
当院のPET/CT検査について …… 6
WEB・FAX予約のご案内、緊急転送・HOTライン …… 7

整形外科部長 就任のごあいさつ

岡本　健
Okamoto Takeshi

令和8年6月1日付けで神戸市立医療センター中央市民病院の整形外科部長を拝命いたしました岡本と申します。私は昭和63年に京都大学医学部に入学し、大学時代は水野弥一（鬼）監督の下、アメリカンフットボールに明け暮れる日々でした。卒業研修は京都大学病院、静岡県島田市民病院、神戸市立中央市民病院でさせていただき、京都大学大学院で学位を取得しました。その後、田附興風会医学研究所北野病院で脊椎外科、京都大学医学部附属病院で骨・軟部腫瘍の臨床と研究に、大津赤十字病院では整形外科部長として関節外科、脊椎外科、腫瘍整形外科、外傷外科に従事しました。

本院は言うまでもなく地域の基幹病院であり、整形外科は関節外科、脊椎外科、手の外科、リウマチ、外傷外科など幅広い範囲で各分野のエキスパートが揃っており、最善の医療を提供できる体制が取られております。また昨年1月より整形外科ホットラインが、本年4月より集学医療部門



令和9年熊本地震における 神戸市立医療センター中央市民病院 DMAT活動報告

1. はじめに

小沢慧一著「南海トラフ地震の真実」東京新聞社発行には南海トラフへの対応にのみ注目している本邦で、1979年以降に10人以上の死者を出した地震は危険率が低いとされている地域にのみ起きている事実が書かれています。阪神大震災（1995年）しかり10年前の熊本地震も同様です。災害は国内で現在進行中であり、被災地に自ら行かなくとも、日常業務を粛々と遂行し神戸の医療を守ることで、地域医療機関の皆様は災害医療に貢献しておられます。日頃の連携とご支援に対し厚くお礼申し上げます。

【救命救急センター　部長　有吉　孝一（医師）】

2. みなし仮設住宅往診 ～在宅療養支援からの災害後の支援ニーズ（8月5日）



八代地域では、急性期医療から在宅・福祉施設等への支援へ重点が移行していました。今回、CPAP（持続陽圧呼吸療法）を装着できていない被災者1名の情報を受け、診察に向かいました。被災者宅は全壊し、みなし仮設住宅で生活していました。現地までの道路は損傷が激しく、周囲には全壊・倒壊した建物があり、移動にも危険を伴う状況でした。現地では、CPAP使用被災者とその配偶者、弟の計3名が生活しており、配偶者は盲ろう者で高度な脱水を認め、支援する弟も持病を抱えていました。また、井戸水の使用やトイレなど、生活環境にも課題がありました。それぞれの被災者が、健康上・生活上の課題を抱えており、3名の被災者の内2名を救急搬送しレスパイト入院につなげました。今回、医療面だけでなく生活全体を捉え、潜在する支援ニーズを把握する重要性を学びました。自院においても、必要な支援を明確にし、外部からの支援を効果的に活用できる受援体制の整備が必要であると考えました。

【GICU/HCU上山瑠美子（看護師）】



に外傷センター、整形外科に人工関節センター、脊椎センターが開設され、より迅速に専門性の高い診療が可能な体制が組まれています。

私は安田義前部長（現人工関節センター長兼外傷センター長）をはじめ諸先生方が築かれてきた本院整形外科の伝統を継承しつつ、希少疾患ではありますが骨腫瘍、軟部腫瘍の適切な診断と治療にも取り組みたいと考えます。また、がん患者さんの高齢化とがん治療成績の向上に伴い、がんの骨転移は増加し続けています。骨転移のあるがん患者さんにいかに良いQOLをご提供するかも整形外科医によって重要な役割であり、私もこれまでの経験を生かして貢献していきたいと考えております。

整形外科の基礎を学ばせていただいた神戸の地にご恩返しができるよう、誠心誠意尽くす所存ですので、皆様どうかよろしくお願い申し上げます。



3. 施設支援 ～ DMAT 活動から継続支援へ（8月6日～9日）

令和8年熊本地震において、8月6日から9日までの4日間のDMAT活動は特別養護老人ホーム早尾園で施設支援を行いました。利用者への看護・生活支援だけでなく、職員の負担軽減と休息確保を支援し、現場の課題を本部・行政と共有。次の支援者への引き継ぎまでつなげ、継続的な支援体制の構築に取り組みました。また、普段の看護実践で培った観察力やチームで支える力も活かされました。災害時には「支える側を支える」視点と、支援を継続させる仕組みづくりが重要であることを改めて認識しました。



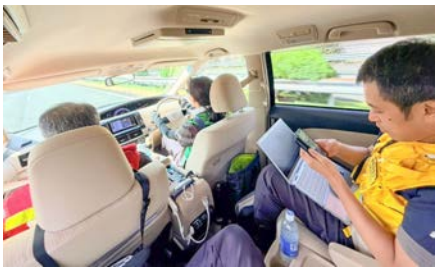


【EICU/CCU 福永千絵美（看護師）】

4. ロジスティクス業務と、理学療法士としての施設支援

DMATの業務調整員として、現地の支援ニーズや課題を整理して本部へ共有し、必要な支援につなげるための関係機関との調整を行いました。特別養護老人ホームでは、施設職員自身も被災する中で、限られた人員による看護・介護負担が大きくなっていました。こうした現地のニーズを踏まえ、DMATの業務に加えて、理学療法士として施設支援にも携わりました。入所者の全身状態や身体機能、移乗能力を確認し、一人ひとりの「できる動作」を活かした安全な移乗・介助方法を検討しました。そのうえで、看護師・介護士とともに離床や入浴を支援し、より安全で介助負担の少ない方法を施設職員と共有しました。こうした多職種での連携により、限られた人員の中でも安全性を確保しながら効率的に支援することができ、入浴支援は初日の6名から翌日は13名へと広がりました。また、介助方法を施設職員と共有することで、その後も継続して実践できる支援につなげることができました。今回の活動では、災害時にはあらかじめ定められた役割を確実に担うとともに、現地のニーズを的確に捉え、それぞれの専門性を活かして柔軟に対応することが重要でした。理学療法士が全身状態と身体機能、生活動作を一体的に評価し、その方の能力を活かした支援方法を多職種と共有することは、限られた人的・物的資源の中で安全な生活支援を継続するうえでも有用であると考えます。今回得られた経験と課題を院内で共有し、今後の災害対応や地域への支援に活かしていきます。





【リハビリテーション技術部　西原 浩真　（理学療法士）】

NEWS
循環器内科
Cardiology

不整脈に対する最新治療のご紹介



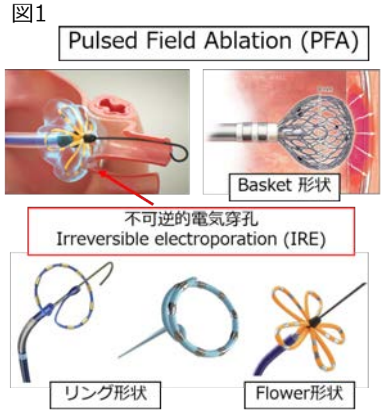
2026年8月1日付で、循環器内科医長に着任いたしました安　珍守（あん　よしもり）といいます。このたび、私の神戸時代の恩師であります小堀先生の御退職後、不整脈グループに関わる後任として、当院に赴任することになりました。野球に熱中した中学高校時代の6年間、そして、初期研修2年と専攻医3年の5年間という大切な時期を過ごし、自分を育てて頂いた、この神戸の地で基幹病院に赴任する機会を頂き、ご縁を感じるとともに、身が引き締まる思いが致します。

不整脈に対する治療は、日進月歩のスピードで発展を遂げている循環器内科領域の中でも、特に、近年の治療技術の進歩が目覚ましい分野です。治療には大きく分けて2つの領域があり、その中で最近の進歩をご紹介します。

1 頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療

従来からあった、高周波エネルギーや冷凍エネルギーを用いたアブレーション治療に加えて、近年、高電圧の電気ショックのようなエネルギーを用いる、**パルスフィールドアブレーション(Pulsed Field Ablation: PFA)**（図1）が開発されて、日本国内でも広く普及してきています。食道や横隔神経といった周囲臓器への影響が少ないと言われ、同等以上の効果を保って、より安全性の高い治療が実施できます。

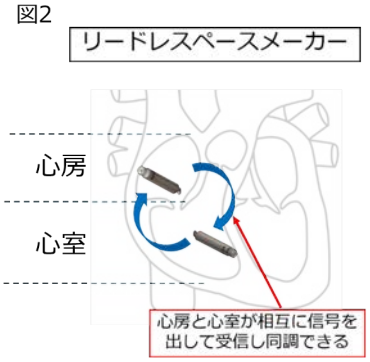
図1



2 徐脈に対するペースメーカーなどの心臓デバイス植え込み

鎖骨下のポケットに植え込む、電池（ジェネレーター）と、そこから電気刺激をする電線（リード）を、血管内を通じて心臓に植え込むのが、従来からあるペースメーカー手術でした。**リードレスペースメーカー**（図2）という、いわば、「電池と電気刺激の機能が一体化」したデバイスが開発され、近年では、心房と心室に一つずつ植え込んで、心房と心室のリズムとして同調させることができます。高齢者をはじめ、感染のリスクが高いケースでは、よりメリットが大きいと考えられます。

図2



脈の乱れでお困りの患者さまについては、是非、地域医療推進課を通じて外来をご予約下さい！

【不整脈外来】　火曜：大岡　水曜：安　金曜：佐々木

一過性の病状の場合は、貴院に情報がございましたら、症状があるとき（発作時）の心電図をご添付頂きますと大変助かります。可能な場合は、受診前日までに、前もって診療情報提供書を当院まで頂けますと有難いです。地域の基幹病院として、高度な先進医療を提供するとともに、地域医療機関の皆さまと、**「顔の見える地域連携」**を目指して、地域での研究会やご挨拶に努めてまいりますので、今後ともご高配の程、どうぞよろしくお願いいたします。

参加者募集

令和8年度 地域連携懇話会

日医生涯教育講座カリキュラムコード申請予定

当院では、地域の先生方との「顔の見える連携」を大切にし、より円滑で質の高い医療提供体制の構築に力を注いでいます。

このたび、その一環として「地域連携懇話会」を下記の通り開催いたします。

第1部では、呼吸器内科、呼吸器外科および外科における最新の取り組みについて講演いたします。また、第2部では各診療科の医師や地域連携の担当者も多数参加し、自由な意見交換・交流の場を設けます。

第1部（講演）のみ、第2部（懇親会）のみのご参加も歓迎いたします。

先生方のみならず、地域連携室のご担当者やコメディカルスタッフなど、地域医療を担う幅広い方々にご参加いただけます。

皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

第１部 <WEB配信なし>

早期肺癌における縮小手術と低侵襲アプローチ
～精緻で安全な手術を目指して～



呼吸器外科 部長
本山 秀樹

大きく変わる肺がん周術期治療
～手術と薬物療法で治癒を目指す時代へ～



呼吸器内科 医長
佐藤 悠城

「最後の砦」だけでなく「最初の選択肢」でもあるために
～二刀流で挑むシン・外科の挑戦～



外科 部長
成田 匡大

新任部長挨拶

小児科・新生児科 **岡藤 郁夫** 部長代行
整形外科 **岡本 健** 部長
放射線治療科 **池田 格** 部長
脳神経外科 **今村 博敏** 部長
（ビデオメッセージ）

第２部

参加費：1,000円 （立食 / ブッフェ）

「多職種大交流会」

日時 令和８年11月19日(木)
18：00～20：50

会場 神戸ポートピアホテル 南館１階@大輪田の間
（神戸市中央区港島中町６丁目10-1）

懇話会（第一部・第二部）へのお申込みは
URL、または QR コードよりお申込み下さい。

URL:
https://forms.gle/keV8jHYNJSoBDw7r6

申込期限：11月５日(木)

お問合せ
神戸市立医療センター中央市民病院 地域医療推進課
TEL：078-302-4321（代表） mail：renkei@kcho.jp

連携登録医の登録がお済みでない方へ

連携登録医として登録いただくと…

▶インターネット予約システムをご利用いただけます
▶紹介患者さんの診療記録を当院で閲覧できます
▶当院の患者さんがかかりつけ医を探される場合に紹介いたします
▶図書館など当院の施設・設備を利用できます（ご利用になれない施設・設備もあります）
▶来院時の駐車場料金を無料にいたします
▶当院が公開して行う症例検討会、研修会、講演会等に自由にご参加いただけます
▶紹介患者さんに対する診療および入院の対応を迅速に行うよう努めます
▶病院ニュースやオープンカンファレンス、講演会をご案内させていただきます

登録方法

●WEBよりお申込み希望の方

こちらよりご登録ください。
https://forms.gle/32hobeqNDqGCJ7mX7 ▶

●FAXでのお申込みを希望の方

当院HPの「連携登録医について」のページにございます申込用紙をお送りください。

申込用紙のダウンロードはこちら

当院 HP ▶ 医療関係者の方へ ▶ 当院の地域医療連携について ▶ 連携登録医

https://chuo.kcho.jp/medical/regional/registered

FAX番号：078-302-4424

その他の詳細は、当院HPをご覧ください。

新規連携登録医療機関

区別住所50音順で掲載しております。（R8.4.2～R8.7.31時点）

区/市	連携登録医療機関名	住所
東灘区	児島クリニック	神戸市東灘区深江北町
	脳神経内科みやもとクリニック	神戸市東灘区深江北町
	のりこデンタルクリニック	神戸市東灘区住吉本町
	やました内科クリニック	神戸市東灘区御影本町
	やまだ内科・糖尿病クリニック	神戸市東灘区御影
灘区	そうし内科・リウマチ膠原病クリニック	神戸市灘区友田町
	常岡内科クリニック	神戸市灘区備後町
中央区	神戸駅こぼり循環器内科クリニック	神戸市中央区相生町
	神戸スイミー皮膚科美容外科	神戸市中央区相生町
	三ノ宮駅前レディースクリニック	神戸市中央区加納町
	三宮そう矯正歯科	神戸市中央区琴ノ緒町
	SAクリニック	神戸市中央区元町通
兵庫区	寺師内科医院	神戸市兵庫区菊水町
	百年記念病院	神戸市兵庫区御崎町
	もりたこどもクリニック	神戸市兵庫区浜崎通
長田区	てい消化器・肝臓内科クリニック	神戸市長田区日吉町

区/市	連携登録医療機関名	住所
北区	近藤内科クリニック	神戸市北区有野中町
	らぽーと	神戸市北区大沢町
須磨区	ツキリズムマタニティクリニック	神戸市須磨区行幸町
垂水区	大澤クリニック	神戸市垂水区美山台
	神戸垂水メディカルクリニック	神戸市垂水区陸ノ町
	小東山クリニック	神戸市垂水区小東山
	学が丘かかりつけクリニック	神戸市垂水区学が丘
市外	芦屋ながさわ内科	芦屋市大原町
	芦屋なかがわ内科心臓クリニック	芦屋市大原町
	芦屋まつおクリニック	芦屋市西山町
	芦屋もの忘れと心の診療所	芦屋市西山町
	芦屋ラポルテ歯の予防クリニック	芦屋市大原町
	かわもり歯科医院	加古郡稲美町国岡
	ふくだクリニック八景分院	三田市横山町
	松尾医院	西宮市鳴尾町
	メープル耳鼻咽喉科	明石市小久保
	OTTO南芦屋浜皮膚科クリニック	芦屋市海洋町

医師異動のお知らせ

退職（転出）者　＜4月～7月＞

退職(転出)年月日	診療科名	補職名	氏　名
R8.4.30	麻酔科	医師	滝西　史麻
R8.6.1	循環器内科	医長	小堀　敦志
R8.6.30	外科	医長	近藤　正人
R8.6.30	腫瘍内科	医員	大森　怜於
R8.8.31	小児科・新生児科	副医長	高端　裕人

採用者　＜5月～8月＞

採用年月日	診療科名	補職名	氏　名
R8.5.1	放射線診断科	医長	熊澤　高雄
R8.6.1	整形外科	部長	岡本　健
R8.7.1	外科・移植外科	医長	花田　圭太
R8.8.1	循環器内科	医長	安　珍守

※医員以上のみ

外来診療担当医 一覧表

右記の QR コードよりご覧いただけます。
また、下記よりダウンロードもいただけます。

当院 HP ▶ 外来受診の方へ ▶ 外来診療担当医一覧表

※内容が変更する場合がございますので、ご注意ください。

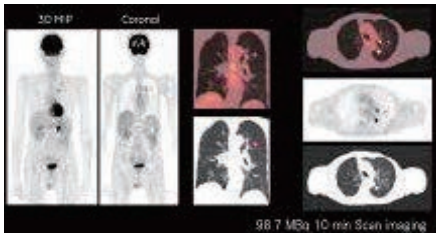


当院のPET/CT検査について

地域医療機関からのPET/CT検査依頼を受け付けています



- 院内にサイクロトロンを備え、PET薬剤（FDG）を自家合成。品質検定を経た薬剤を使用し、体重に応じた適正量の投与が可能です。これにより、高品質で安定した画像を提供します。
- 5リング搭載の高感度型PET/CT 装置（GE Healthcare社製 Discovery IQ）を導入。従来機よりも低被ばく・高画質の検査が可能です。
- 患者さんのご希望日時に配慮した柔軟な検査予約が可能です。



地域医療機関の先生方へ（ご依頼時の注意）

- 悪性腫瘍（早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む）に対する病期診断・再発・転移の評価においてのみ保険適用となります。
- 悪性腫瘍の疑いに対する良悪性の鑑別、治療効果判定（悪性リンパ腫を除く）は、保険適用外となりますのでご注意ください。
- 他の画像検査（CTやMRI）で診断が確定できない場合にご依頼ください。
- PET/CT検査前には、必ずCTまたはMRIを施行し、その画像データを持参くださいますようお願いいたします。

予約申込方法

検査のご予約には、下記の書類をご準備のうえ**FAXで**お送りください。

●PET-CT検査予約用紹介状　●検査に関する同意書（押印済みのもの）

※いずれも記入漏れがある場合は予約をお受けできませんので、十分にご留意ください。
※書類の原本は、検査当日に患者さんにご持参いただくようお伝えください。
※検査予約申込は**FAXのみ**となっています。ご了承下さい。

予約専用TEL
078-302-6031
予約専用FAX
078-302-2251

申込用紙のダウンロードはこちら

当院 HP ▶ 医療関係者の方へ ▶ WEB・FAX予約のご案内 ▶ FAX予約申込書一覧

https://chuo.kcho.jp/medical/general/

WEB・FAX予約のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんについてはWEB・FAX予約をお願いいたします。WEB・FAX予約をしていただくことで患者情報の事前登録や、診療の準備ができ、患者さんの待ち時間が短くなり円滑な診察・検査に繋がりますので是非ご利用ください。

WEB予約について

①インターネット（WEB）紹介予約システムにログインし、ご予約をお取りください。先生方の操作で空き状況の確認及び予約日時の確定をすることができます。

②貴院で即予約券の発行ができますので、患者さんへお渡しください。

https://www3.e-renkei.com/hospital/kcho-gh/login.php

※紹介予約システムのご利用には事前登録が必要です

インターネット予約をリニューアルしました！

「患者氏名（カナ）」「生年月日」「電話番号」
の入力だけで予約枠をおさえられるようになりました。



※詳しい情報については、診療情報提供書にご記入ください。

FAX予約について

①紹介状をFAX送信
「診療情報提供書」を当院患者総合支援センターの予約専用FAXへ送信してください。

②予約券を返信
紹介状のFAXを受診後おおむね20分以内（営業時間内）に「予約報告書（上段）兼初診予約券（下段）」を返信いたします。

③予約券・紹介状のお渡し
「予約報告書（上段）」は貴院で保管し、「初診予約券（下段）」および「診療情報提供書（紹介状）」を患者さんにお渡しください。

申込用紙のダウンロードはこちら

当院HP ▶ 医療関係者の方へ ▶ WEB・FAX予約のご案内 ▶ FAX予約申込書一覧

https://chuo.kcho.jp/medical/general

予約専用TEL：078-302-6031
予約専用FAX：078-302-2251

緊急受診・転院のお問い合わせは下記までご連絡ください

平日 9:00 ～ 17:00

患者総合支援センター

078-302-5172

※医療機関専用です。患者さんには知らせないでください。

上記以外の時間帯

緊急外来受付

078-302-4321（代表）

脳卒中、胸痛、産科母体搬送・産褥搬送、小児救急、整形外傷の緊急時のご相談は下記のホットラインまでご連絡ください。

脳卒中 ホットライン	078-302-8030
胸　痛 ホットライン	078-302-6162
産　科 ホットライン	078-302-5104
小児科 ホットライン	078-302-5343
整形外科 ホットライン	078-302-4479

当番医師が24時間365日直接対応いたします

地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
Kobe City Medical Center General Hospital
〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1

代　表　Tel：078-302-4321　Fax：078-302-7537
FAX予約　Tel：078-302-6031　Fax：078-302-2251
患者総合支援センター　Tel：078-302-4321㈹　Fax：078-302-4424

診療情報提供書等は、患者総合支援センターへFAXしてください